

ACTION

アクション **REAR VIEW**

リアビュー



RGM-79C GM TYPE C

E.F.S.F. MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RGM-79C
 TOTAL HEIGHT : 18.0m
 WEIGHT : 41.2t
 TOTAL WEIGHT : 58.8t
 GENERATOR OUTPUT : 1,250kw
 MATERIAL : TITANIUM-CERAMIC COMPOSITE
 ARMAMENTS :
 60mm VULCAN GUN
 90mm MACHINE GUN
 360mm HYPER BAZOOKA
 BEAM SABER



DETAIL

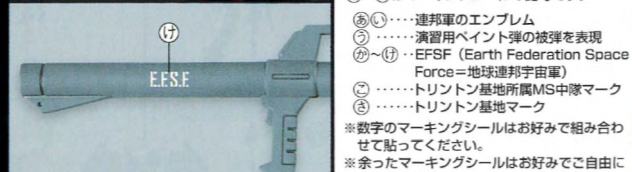
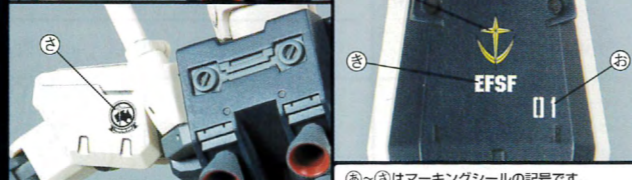
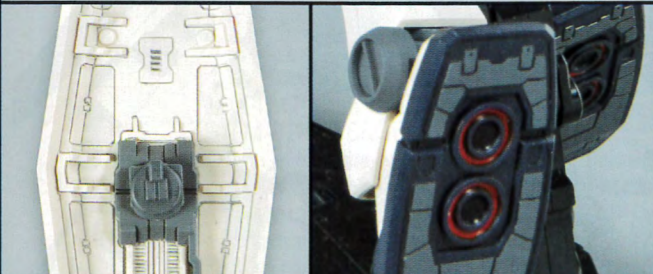
ディテール

MARKING

マーキングシール



造形にこだわった新規の握り手首パーツをはじめ、表情豊かな手首パーツを各種セット。



①～⑧はマーキングシールの記号です。
 ⑨⑩…連邦軍のエンブレム
 ⑪…演習用ベイント弾の被弾を表現
 ⑫⑬…EFSF (Earth Federation Space Force=地球連邦宇宙軍)
 ⑭…トリントン基地所属MS中隊マーク
 ⑮…トリントン基地マーク
 ※数字のマーキングシールはお好みで組み合わせてください。
 ※余ったマーキングシールはお好みで自由にお貼りください。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。 ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●腕・脚部等: ホワイト (70%) +セールカラー (30%)	●胸部等: インディブルー (60%) +レッド (30%) +ミッドナイトブルー (10%)	●胸部インテーク等: イエロー (90%) +オレンジイエロー (10%)	●コックピットハッチ等: モンザレッド (100%)	●武器等: グレー (90%) +ブラック (10%)	●武器センサー部: クリアグリーン (100%) +下地にシルバー (100%)
--	--	---	-------------------------------	-----------------------------------	--

1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

MOBILE SUIT
GUNDAM
0083
STARDUST MEMORY

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN ●写真の完成品は塗装してあります。

0164563



RGM-79C GM TYPE C

「ジム改」は、一年戦争末期より量産された機体である。戦時下で生産された「ジム系」の機体群は、設計や規格が乱立していたため、継続運用に支障をきたしていた。そこで、後期生産型のジムに各出力系の向上などを基本に若干の改修を施し、新技術も盛り込みつつ暫定的なリファレンスとしたのである。本機の生産継続は、後に連邦軍が発動する「連邦軍再建計画」の一環としての側面も持つ。一年戦争によって旧来の兵器体系が根底から覆されたため、連邦軍においてもMSの運用を前提とする兵器の適正配備が急務となっていた。各拠点では喪失した兵器の補充と更新を同時に行う必要があったため、戦争状態ではないにも関わらず、連邦軍は準戦時態勢で組織の再編に臨んでいたのである。無論、それは公国軍残党の潜在的な脅威を見越してのことであり、その懸念は「デラース・フリート」の決起と「星の肩作戦」の展開によって現実のものとなる。RGM-79C ジム改は、相当数が生産されたにも関わらず、本格的な主力機として実戦に投入された例に乏しい。なぜなら「ジム改はデラース・フリートが擁する雑多な旧型機群に全く歯が立

たなかった」という不名誉な評価が定着してしまったせいである。実際には、デラース・フリートの奇襲による戦術的敗北なのだが、トリントン基地に配備されていたジム改の多くが、ろくに交戦もしないまま撃破されていた事は事実であった。いわゆる「ノーマルなジム」はデラース・フリートによって引導を渡されてしまったのである。かくしてジム改は、充分に高性能な機体でありながら、連邦軍の主力機の座を担う間もなく、後継機にその座を譲るのである。それでも、この機体こそが80年代以降の連邦製MSのリファレンスであったことは違えようのない事実である。ジム改は、生産ノウハウの確立に大きく貢献しているほか、各種のテストベッドとして、あるいは、パワード・ジムなどの改造機によるデータ収集機などとして、後の連邦系MSの礎となった。「ガンダム開発計画」自体、採用された基礎データの多くはジム改を基準としたものだったと言われている。ちなみに、後にRGM-79の実質的な後継機として配備されるRGM-79R ジムⅡには、戦中に生産されたジムにコクピットの換装や近代化改修を施し、制式番号が更新されただけの機体も多く含まれているらしい。にもかかわらず、グリプス戦役時のスペック水準を満たせたのは、ジム改がもたらした各種データが有効に採り入れられていた為である。

90mmマシンガン

バレルやセンサー、マガジンなどを換装可能な汎用マシンガンのショートバレル仕様。演習などにおいて使用されるペイント弾射出にも使われている。マガジンの装弾数は20発。

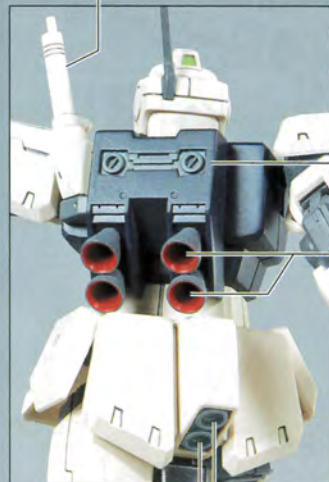
ロッドアンテナ

シールド

主に実体弾などに対して有効な防御装備。耐ビームコーティングは施されているが、直撃は避けた方が賢明。サーベルなどのオプション兵装を装備/携行可能な改装を施されたものもある。

60mmバルカン

ビーム・サーベル



バックパック

メインスラスタ

サブスラスタ

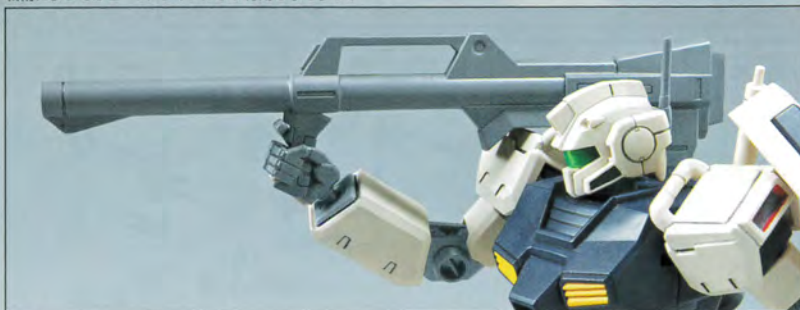
コクピットハッチ

360mmハイパー・バズーカ

各種弾頭を装備可能な実体弾砲。破壊力はビーム・ライフルに匹敵するものもある。本体からのエネルギー供給が不要であるため、戦術によってはビーム・ライフルより有効な事も多い。

SPEC

型式番号：RGM-79C
 頭頂高：18.0m
 本体重量：41.2t
 全備重量：58.8t
 ジェネレーター出力：1,250kw
 装甲材質：チタン・セラミック複合材
 武装：頭部60mmバルカン
 90mmマシンガン
 360mmハイパー・バズーカ
 ビーム・サーベル



●写真はイメージです。

RGM-79C ジム改

RGM-79C ジム改は、OVA作品「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」および劇場用作品「機動戦士ガンダム0083 ジオンの残光」などに登場する量産型MSである。U.C.0083年10月13日夜半、2機の試作型ガンダムの重力下試験のため、連邦軍最新鋭のペガサス級強襲揚陸艦アルビオンがオーストラリアのトリントン基地に寄港していた。その格納庫から、核弾頭を搭載したガンダム試作2号機がジオン残党の「デラース・フリート」によって強奪されてしまった。それと同時に陽動のミサイルが雨あられと降り注ぎ、トリントン基地は大混乱に陥る。そんな中、ベテランのパニング大尉は、冷静にパイロットたちに機を飛ばしていた。「実弾装備は済んだか!? 模擬戦じゃないぞ、気を引き締めていけ、いいな!!」「はい!!」そこにガンダム試作2号機がジオン残党に奪われたとの報が入る。「なにっ!?」「ジオンだお!?」「パイロットたちは色めき立ち、迎撃のため各々愛機に乗り込む。しかし、訓練も途上で実戦経験もほとんど無いルーキーが多くを占めるトリントン基地所属のパイロットたちは、歴戦の勇士であるデラース・フリートの敵ではなかった。紅蓮の炎と立ち上る黒煙がトリントン基地を飲み込み、次々と撃破される連邦軍のMSたち。2号機奪還のため試作1号機に乗り込んだテストパイロットのゴウ・ウラキは、かつて「ソロモンの悪夢」と連邦軍兵士を震撼させたアナベル・ガトーに翻弄され、辛うじて数度切り結んだものの追う事は叶わず、視界を埋め尽くすミサイルの群れになす術もなく立ちすくんでいた。「ウラキ少尉!! どうした返事をせんか!?」何度も呼ばれてようやく我に帰ったゴウにパニングがジム改のコクピットから喝を入れる。「ミサイルのシャワーくらいでビビるな!!」「あ…、パニング大尉」「敵は後退した。これから我々は、掠められた2号機奪還のため追撃する!!」司令部を喪失したトリントン基地は、部隊の指揮をアルビオンのシナス艦長へと委譲。被害を免れたMSをかき集め、パニングのジム改を先頭に奪われた2号機を追う!!

HGUCシリーズラインナップ

※この商品には、「HGUC ジム改」が1セット入っています。

トリントン基地にジオン残党が強襲!!

U.C. (宇宙世紀) 0083年。オーストラリアの地球連邦トリントン基地に向かう強襲揚陸艦アルビオンが積載する2機の試作ガンダム。基地所属のテストパイロット、ゴウ・ウラキは、その威容に目と心を奪われる。重力下試験に備え、核弾頭を2号機に装填した直後、2号機はジオンを名乗る男に強奪されてしまう。同時にトリントン基地を襲う無数のミサイル群。目の前で奪われた2号機を追うべく、ゴウは試作1号機に乗り込む。その行く手に立ちちはだかる。

HGUC No.013 ギンダムGP01 ゼフィランサス
 HGUC No.067 パワード・ジム
 HGUC No.107 ザクⅡF2型 連邦軍仕様
 HGUC No.066 ギンダムGP02A サイサリス
 HGUC No.017 ドムトローベン

一年戦争終結から三年。対峙する2機のガンダムが、新たなる戦いの時代の始まりを告げる!!

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側と同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・袋口に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける

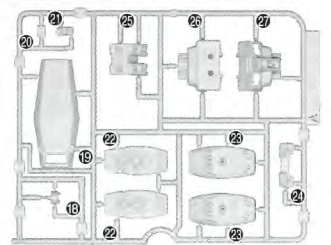


・反対側も同じように動かします

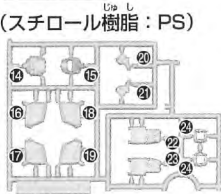
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

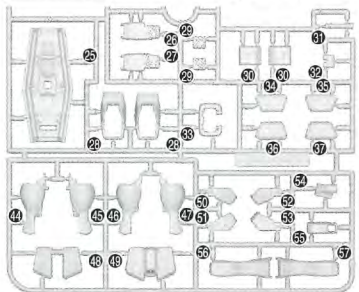
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



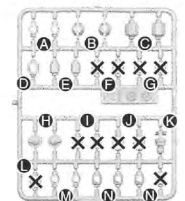
B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



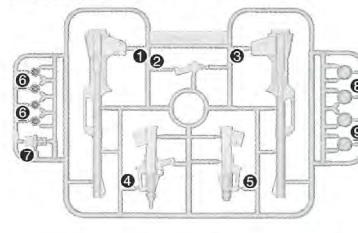
B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



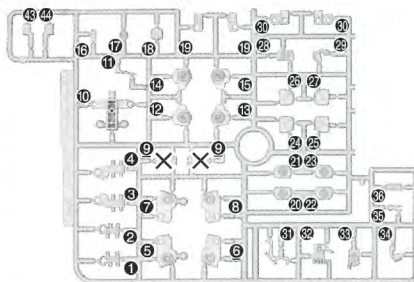
〈PC-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (ABS樹脂: ABS)

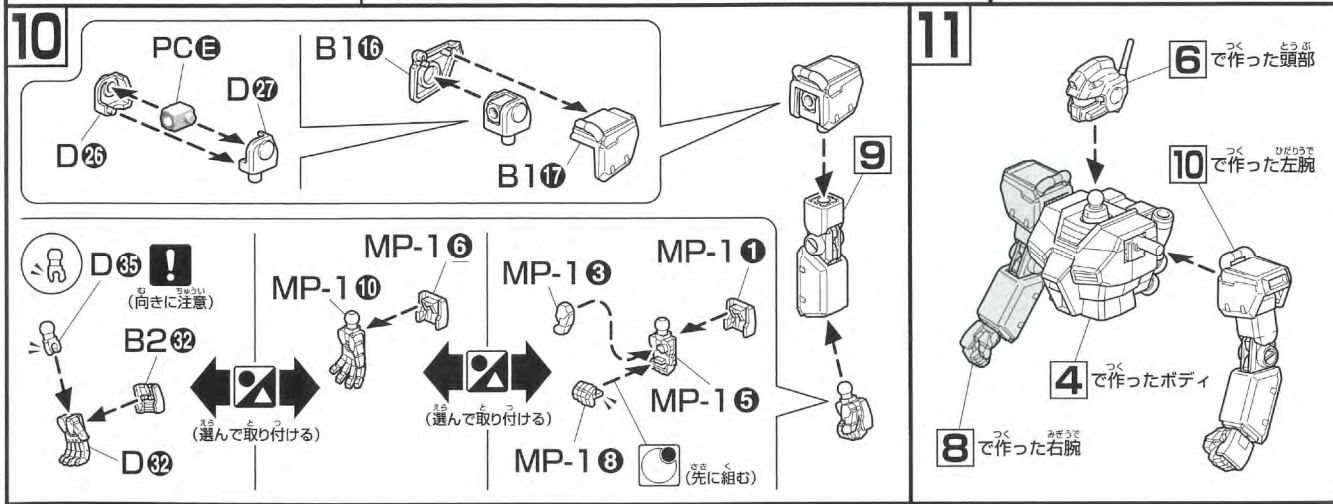
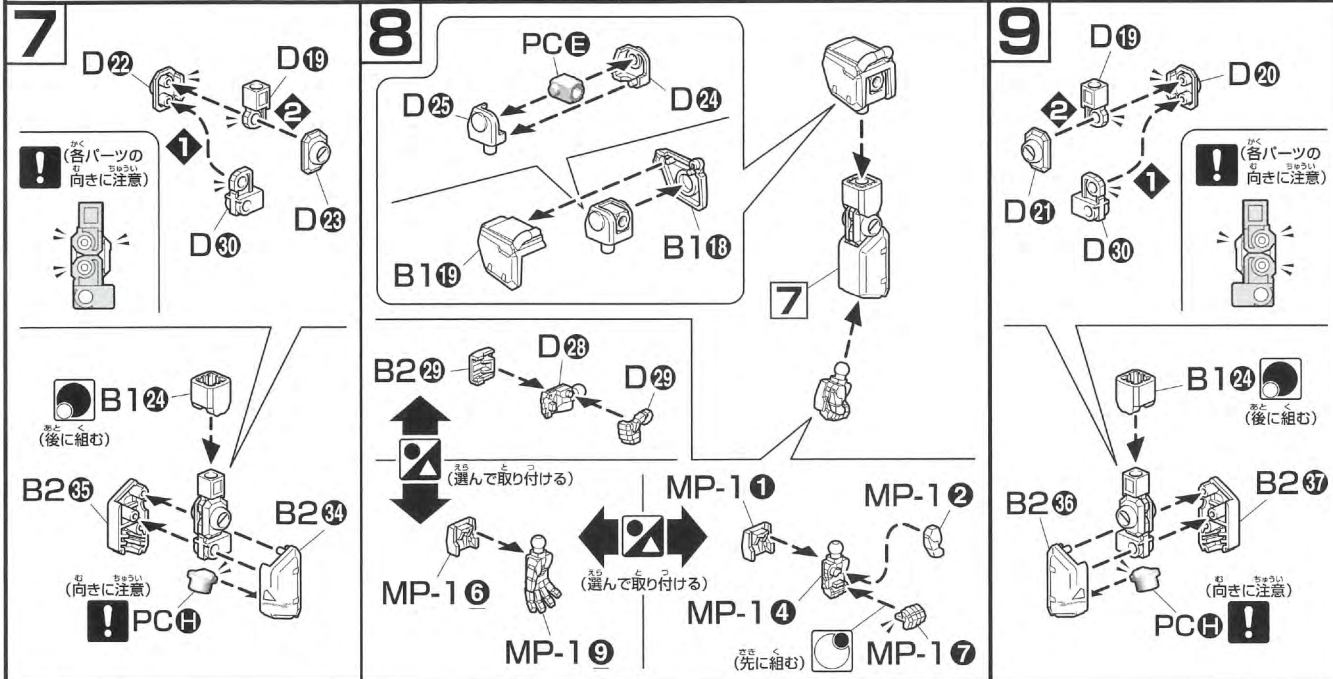
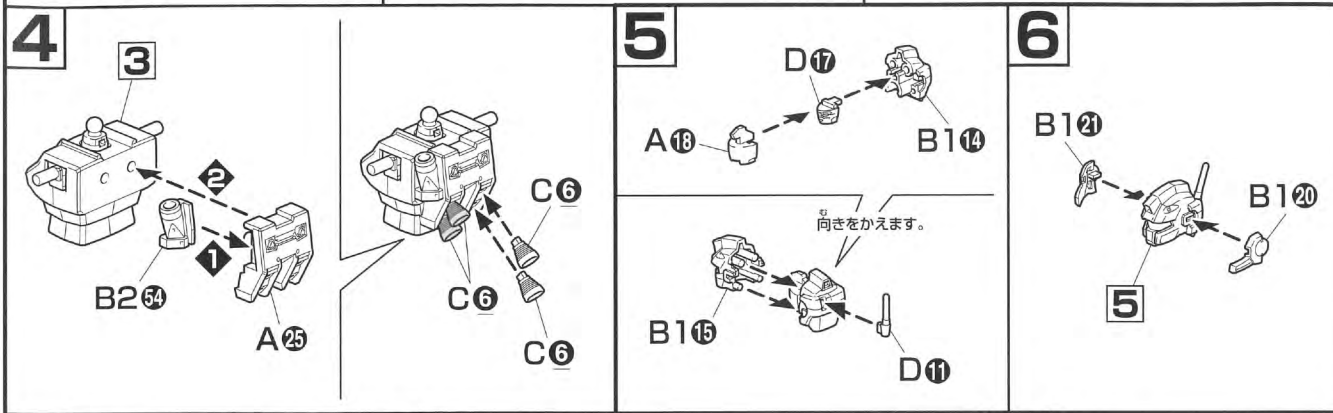
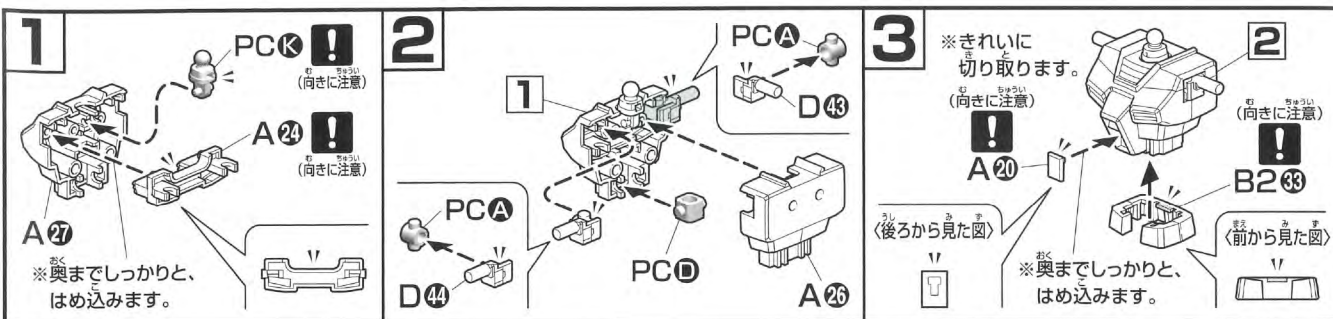


MP-1Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

● マーキングシール...1



12

B220

A23 ※きれいに切り取ります。

A22 ※きれいに切り取ります。

14

D14

D1

D16

D3

! (各パーツの向きに注意)

16

(後に組む)

B27

PC8

B122

15

15

13

13

D7

PCM

D8

C9

B262

B260

C8

(先に組む)

12

15

14

B244

B247

PC9

15

B256

B247

PC9

24

11

23

B201

25

C4・C5

26

C3

C2

C1

17

B220

A23 ※きれいに切り取ります。

A22 ※きれいに切り取ります。

19

D2

D12

D16

D4

! (各パーツの向きに注意)

21

(後に組む)

B123

PC8

B226

20

20

18

18

PCM

D6

D5

C8

B251

B253

C9

(先に組む)

17

20

19

B246

B245

PC9

20

B257

B246

PC9

27

B225

PCN

D18

A19

28

B229

D33

D34

26

(通んで取り付ける)

26 で作った 360mmハイパー・バズーカ

25 で作った90mmマシンガン

※手首は外しておきます。

22

(向きに注意) (先に貼る)

! (シール)

PCN

D10

PCN

B249

B248

A21

B255

22

向きをかえます。

D16

D36

※きれいに切り取ります。

23

B230

22 で作った腰部

B230

21

16 で作った右脚

29

27 で作ったシールド

(通んで取り付ける)

D31

30

(通んで取り付ける)

C7

30

※バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用してディスプレイできます。

※バンダイプラモデルアクションベース2(別売り)差し込み用(角型)BA4-A9

